



(1) 伯林地下鐵道ウイツテンベルヒ廣場停車場

(1) Wittenberg platz subway station in Berlin.

伯林地下鐵道

プラットホーム意匠

工學士 成瀬勝武

成瀬氏は復興局橋梁課の技師で昨年歐米の橋梁其他工事を視察した人、其土産寫眞の數枚に就て特に説明を乞ふたもの(編輯係)

近代的都市施設のうちに、地下鐵道停車場の構造の如きは最も興味あるもの一つであらう。街路、廣場、等の一隅に設けられた入口から這入つて屈曲した階段を下り、プラットホームに立ちそして待ち乍ら電車に乗る——それだけの僅かなものではあるが、忙しい行人を無數に送迎する有機的な設備であるだけに、是を簡單化し、容に好感を與へる點に就ては特に考慮さるべきであらう。

○

プラットホームだけに就いて言つて見ても其所に至る迄の通路の明快を缺いたものや、構造の複雑なものは兎角親しみ憎い感じを與

へたり、臆切な氣持を抱かせ、ホオムの不潔亂雜なものは不快の感じを與へたりする。之を外國の主要都市にある實例に就いて一瞥して見れば、

○

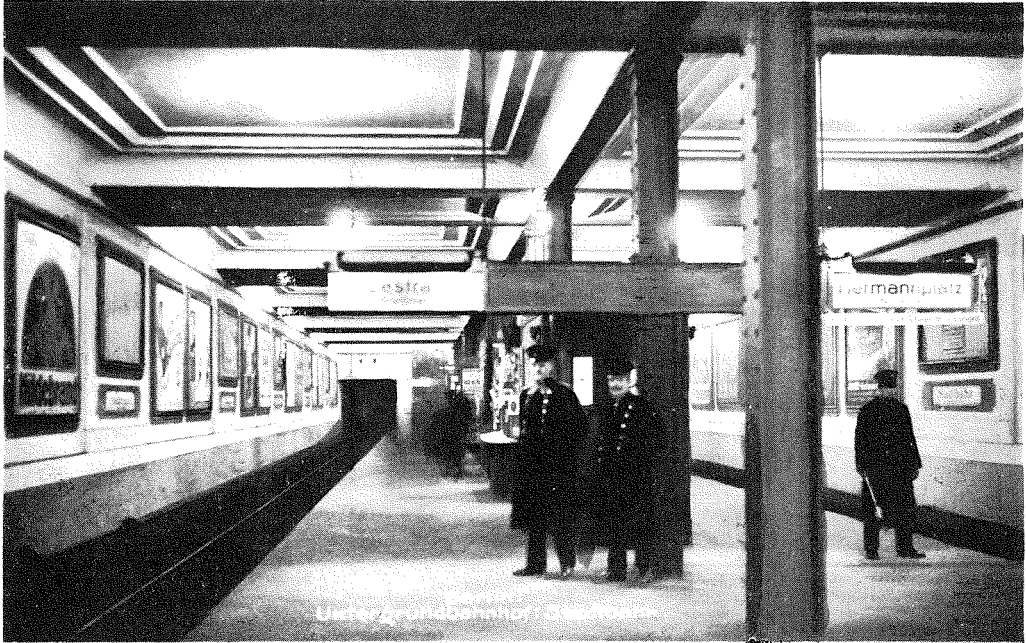
紐育地下鐵道の施設は上述の不快な點を最も多分に持つてゐるやうだ。狭い昇降階段、雜然たる通路の不潔さ、機械的な入口、薄汚いホーム、等々は亞米利加氣質を示してゐる

○

倫敦のは狭い街路や狭いチupp隧道を使用してゐる割には相當氣持よく出來てゐるけれど、然し巴里や伯林に見るものに比べればあまり感心は出來ないし、通路の如きは非常に複雑してゐる。

○

一般的に見て巴里の地下鐵道(metro)は最も餘裕ある停車場を持つてゐる。廣場や街路が充分である事も關係するだらうけれど、ゆるやかな階段は其の幅も廣く、ホームは拱型で天井が高く藝術的な廣告が巧みに並べられてゐる。



(2) 伯林地下鐵道シュタットバアン停車場

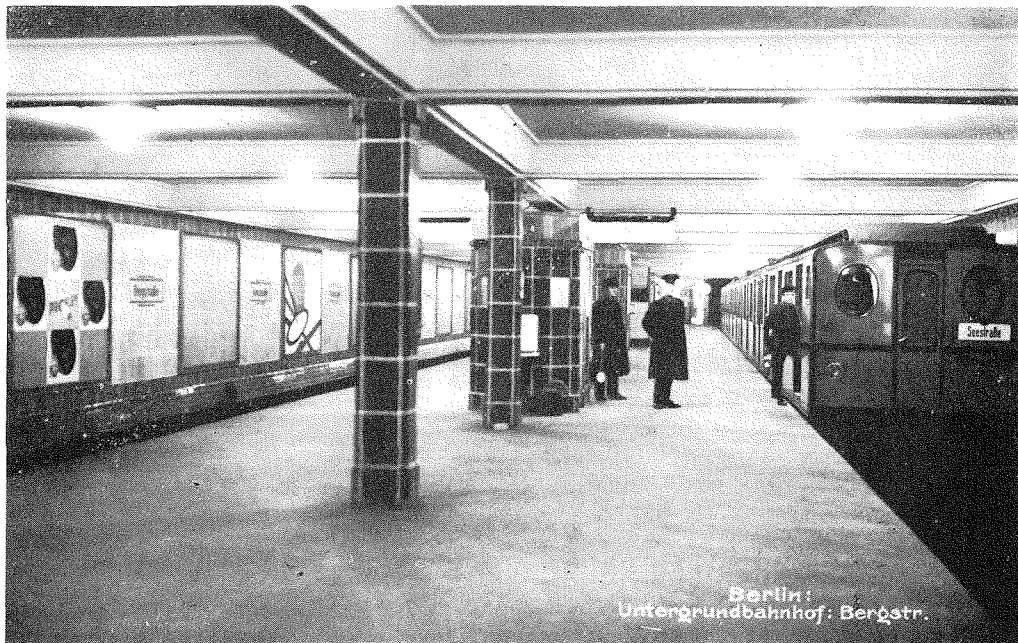
(2) Stadtbahn station.

○
 巴里の metre のやうな構造は西班牙のマドリイドやバルセロナに其の亞流があるけれど、然し拱式構造は一般的ではない。一般的なのは紐育や伯林の柱と桁から成り立つ構造であつて、此種類のもの、停車場としては伯林のが一番良く出来てゐるやうに思はれる。

○
 プラトホームの構造のうちで最も目に着き易いのは、天井に出て来る桁と、照明と、壁の仕上である。私は次の寫眞によつて伯林の各停車場内部の意匠に對する私の感想を書けば、最も普通であつて、そして最も簡單であるのは天井に間隔を短く桁が並列された型であるが、其の如何にも機械的な桁の混雜さを多少でも軽減しやうとして幾分手を加へたのは第一圖に示すものである。照明は桁と桁との間に置かれて時々間接に作用する。第二、第三の兩圖では天井は太い床桁を間隔を広く配置じてスラブの面を大きく出し、之に電燈が付けられてゐる。極めて平凡であるが、あつさりして無難である。第三圖では驛名と廣

告欄とが壁の面で交互に置かれてゐて非常に判然として居り、鐵柱は美しいタイルで包まれ武骨な感を殺いでゐる。第四圖は非常に Decorativ であり、第五圖は拱型に作られてゐる。特別な場所に此の様な型式や意匠を使用する事は兎角同型同曲の爲に紛れ易くなり勝ちになる弊害を除き得るのである。第六圖では天井が全部に亘つてフラットである。之は非常に簡明で平滑で、そして氣持が良い。ノルレンドルフ停車場の昨年改築したものは天井の電燈を直接に露出せず、樋を作り此の中に電球を置いて、天井の反射によつて全く間接に軟い光を出して居り、柱、掲示器の類は巧みな手法を以つて素晴らしい効果をあらはしてゐる。私の最も感心したのは此のノルレンドルフ驛の設計であつて、出入口の構造なきも範とするに足りる。

仕上の色は驛毎に主色を異にして調子を變へるのは良いが、その爲に無理に鮮やかな色にしたり、生な中間色を使用するのは淺薄な感じや不快な氣持を生ぜしめる。女學生好みのセンチメンタルな色は最も不愉快である。



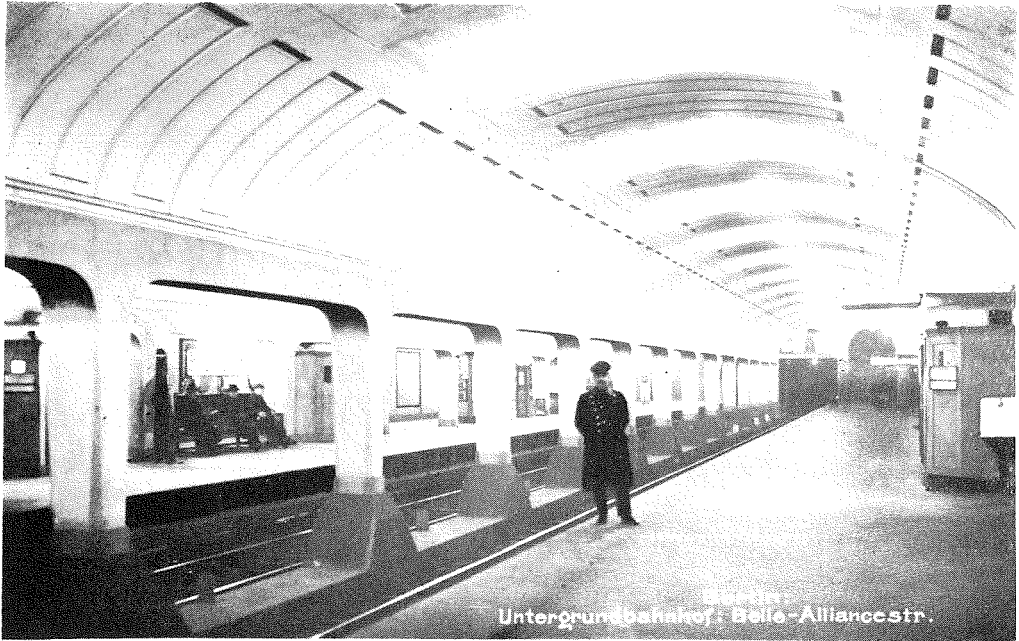
(3) 伯林地下鐵道ベルヒ街停車場

(3) Bergstr station.



(4) 伯林地下鐵道ヘルマン廣場停車場

(4) Hermann platz station.



(5) 柏林地下鐵道ベユアクアンセ停車場

(5) Belle-Alliance station.



(6) 柏林地下鐵道ポツダム廣場停車場

(6) Potsdamer platz station.